

基礎理工学専攻物理学系「新入生の日」セミナー

講演題目：「エセ科学 — 科学とオカルトの間」

講演者：兵藤申一先生

日時：2007年5月18日（金）16：20～

場所：A棟206教室

講演要旨：

物理学を学ぶ者にとって、熱力学の諸法則は、19世紀に完成した牢固として疑うべからざる法則である。しかし、第1種あるいは第2種の永久機関を発明したと称する人間が、現在でも時に出現して話題を撒くことがある。また、電力線が周囲につくる電磁場とか気象レーダーのマイクロ波などが人間の健康に有害な影響を及ぼすといった、馬鹿馬鹿しい説が、アメリカでは有力な新聞コラムで真剣に取り上げられたという。1990年代に一部の物理学者を熱狂させた cold fusion も、今にして見るとエセ情報でしかなかったと思わざるを得ない。人間が内在的にもつ願望と不確かな知識情報とが結びつくと、幽霊が世界を走る。

講演者の兵藤申一先生は平成元年に本物理学科が発足しましたとき、設立の大仕事を担ってくださった先生で、当時応用物理学会の会長でもあり、本学科が現在ある姿をとるまで学科を指導していただきました（例えば、2年生の物理学実験のグランドデザイン）。

ご専門は破壊の力学など幅広く、「物理学辞典」（培風館）の編者、「物理概論」、「科学英文技法」の著者であり、また寺田寅彦（物理学者で、夏目漱石のお弟子でもある）の孫弟子でもあります。今回は後進のわれわれにもわかる興味深いお話をお願いしました。大学院生だけでなく学部生も、また教員も多数のご参加をお願い申し上げます。

なお、講演会の後 17：30 より中央棟2階の教職員食堂で懇親会を行いますのでこちらにもぜひご出席ください。

（連絡先：稲垣睿 tel:044-934-7432、inagaki@isc.meiji.ac.jp）